

整備局企画部防災課より

企画部 防災対策官 菊井

防災エキスパートの皆様には、日頃から中部地方整備局の防災業務に、ご支援・ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

平成18年度中部地整管内の災害は、5月の横山ダム下流の東横山地先で発生した大規模な斜面崩壊、「平成18年7月豪雨」と命名された梅雨前線豪雨による天竜川右岸堤防の決壊等がありました。堤防復旧に当たっては、防災エキスパートの皆様にお世話になり、お陰を持ちまして迅速な対応が出来たことを感謝申し上げます。

また今年度も、職員に対して防災意識の啓発・対応能力習熟のため、各種訓練・研修を実施致しましたが、5月11日中部技術でのロールプレイング訓練時のコントローラ、9月1日の総合防災訓練時に事務所への情報提供等、多様な取り組みにご協力を頂き、ありがとうございました。

防災・危機管理関係のハード対策については、少しずつではありますがシステムの構築等を進めており、8月には電子掲示板のような「新災害情報サブシステム」、2月には局幹部への速報体制を構築しました。防災エキスパートの皆様には、従来から一刻も早い支援や復旧活動の「糧」となるよう、大規模地震発生時に公共土木施設等の災害情報などを、迅速に整備局等へご報告頂くという、「防災エキスパート30モニター」をお願いしているところですが、いざ災害が発生した場合の初動時の情報収集について、改めてご協力をお願い致します。

また新たな取り組みとして、各整備局が大規模災害が発生した時の「自治体等への災害復旧支援」の枠組みを早急に構築することとしており、防災エキスパート事務局と打合せを始めたところですが、具体の構築に当たっては、皆様方の協力をお願いしたいと考えております。（2/28世話役会議挨拶）



菊井防災対策官

エキスパート活動報告

平成18年8月下旬から3月末までに行われた防災エキスパートの活動をご報告いたします。

◎8/23 多治見砂防国道事務所研修会 29名

砂防事業・道路事業・管理区間について、意見交換を行いました。

◎8/25 浜松河川国道道路点検 3名

道路防災週間において、浜松河川国道管内の危険箇所を把握することを目的とし、職員及び防災エキスパートによる防災カルテに基づく点検を行いました。実施場所：島田市～掛川市。

◎静岡国道管内道路点検

- 8/28 静清国道道路点検 2名
- 8/29 富士国道道路点検 1名
- 8/31 沼津国道道路点検 2名

静岡国道管内の防災カルテの危険箇所は 127 箇所（2005 年調べ）。今回はそのうちの管内 4 路線、21 箇所を職員に同行して点検しました。落石、崩壊、地すべり、土石流、盛土、擁壁などを対象に、写真による形状変化記録や、構造物に発生したクラック（亀裂）の大きさを計測し経年変化を観測して、対策や実施の判断材料にしていけます。



三重道路点検①



三重道路点検②

◎8/31 三重河川国道道路点検 3名

道路防災週間の一環として、防災カルテ調査票をもとに変状の有無確認（計測または目視）を行いました。実施場所：国道1号亀山関町坂下地内。

◎9/1 防災訓練 55名

中部地方整備局と合同で防災訓練が行われ、自発的モニター活動や依頼による出動で訓練を行いました。

◎10/25 沼津河川国道事務所防災エキスパート連絡会議 11名

防災エキスパート活動向上の為、連絡会議を行いました。防災エキスパートの活動の流れや、沼津河川国道事務所管内における危険箇所、平成18年7月豪雨に伴う天竜川水系の出水状況報告、意見交換会などが実施されました。意見交換会では、防災訓練時には、担当課職員全てが対応できるようにすべきであるといった意見が出されました。

◎11/8 天竜川シンポ（感謝状授与式）

平成18年7月豪雨にて出動した美濃部良治、南坂丈治、岩下喜内、大島正光（敬称略）が国土交通省天竜川上流河川事務所長よりエキスパートとして感謝状を贈呈されました。



表彰されるエキスパート

感謝状

防災エキスパート
○○○○殿

あなたは平成十八年七月豪雨
による天竜川の災害に際し
その豊富な経験を活かして
復旧に努められ、地域の安全
確保にボランティアとして
貢献されました
ここに深く感謝の意を表します

平成十八年十一月 八日

国土交通省中部地方整備局
天竜川上流河川事務所長 三上 幸三

感謝状

◎12/12 遠州地区研修会 29名

浜松河川国道事務所管内において、地震および風水害等大規模災害発生時にボランティアとして迅速な情報収集、協力活動を有効に行うため、国土交通省職員と合同で道路・河川の危険箇所、防災拠点、物資輸送経路等の現地確認の他、連絡系統の周知徹底を図り災害時に備えました。

現地研修…国道関係は、国道1号、磐田BP、袋井BP、掛川BP、金谷BP、藤枝BP(小立野～谷稲葉IC)、河川関係は天竜川(9.0km～26km左右岸)。



遠州地区研修会

◎1/16 防災セミナー 190名

1/16に「防災とボランティア週間」にちなみ、中部地方整備局の共催、愛知県、名古屋市の後援のもと、ウィル愛知ウィルホールにて、防災セミナーを開催いたしました。今年度は国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 事務所長の三上幸三氏に「平成18年7月豪雨災害とその対応」、名古屋大学大学院 教授 福和伸夫氏に「わが家の備えから始まる防災エキスパートの活動」をご講演いただき、431名(うち防災エキスパート190名)の方が参加されました。



会場風景↑

←三上氏講演

福和氏講演→



◎1/18 ロールプレイング方式による危機管理対策訓練 7名

静岡県において実施される地震対策オペレーション2007(大規模図上訓練)に合わせ、静岡国道事務所においてもロールプレイング方式による危機管理対策訓練を実施しました。7名のエキスパートの方が訓練統制者(コントローラー)として参加されました。

◎2/28 世話役会議 29名

(社)中部建設協会 大会議室にて世話役会議を行いました。国土交通省からは防災課の菊井防災対策官、川西課長、岡専門官が参加され、整備局からの連絡事項では、平成19年5月27日(日)に静岡県安倍川河川敷にて実施される安倍川連合水防演習・複合型災害防災実動訓練(THAT)についてお話がありました。また、事務局からは平成18年度の活動報告、平成19年度の活動計画の説明があり、世話役の方々よりご意見等をいただきました。



世話役会議会場風景



整備局防災課 川西課長

30分モニターについて

防災エキスパートの皆様の中から特別にご了解いただいた方をお願いをしている、30分モニターについて、ご紹介させていただきます。

◎30分モニターとは？

正式名称を『大規模地震第一報情報依頼制度』といい、モニターの方の居住地域で震度6弱以上の地震を観測した際に、被災状況を30分以内に直接本局防災課の職員へ報告していただきます。

◎報告していただく内容とは？

被災地域内に居住するモニターの身の回りで起きていることや、観察できる付近の状況を簡潔に報告していただきます。

(例えば・・・)

- ・揺れの状況
- ・屋内の状況
- ・屋外(周辺)の状況 ・・・等

◎どうしてモニターが必要なのか？

大規模地震が発生した後の応急復旧等の対応を迅速かつ効率的に図るうえで、早期に被災地域の状況を把握することは極めて重要です。

その際には、主として職員から被災状況の収集を行いますが、職員だけではそれらの情報が限定的になる可能性があります。

より多様な情報を収集するには職員以外からも情報を得るルートを確保する必要から、災害対応の経験を豊富にお持ちのエキスパートの方の中から、ご協力をいただける方をお願いしております。

◎集められた情報は何に活用するのか？

中部地整の災害対策本部では、応急対策等を実施する際の参考とさせていただきます。

また、本省へも伝達し、特に重要な情報については政府対策本部へも伝えられ、政府レベルでの情報共有に活用されます。

防災エキスパート登録者を随時募集中！

大規模災害発生時には災害情報の収集、伝達が非常に重要となります。

中部地区在住で河川・道路などの整備、管理などのノウハウを持ち、防災エキスパート活動にご協力いただける方は是非申し込みをお願いいたします。

発刊：中部地方防災エキスパート事務局 (社)中部建設協会 企画部
名古屋市中区丸の内3-5-10 住友商事丸の内ビルディング8階
TEL052-962-2227 FAX052-962-9083